



大総地区にある「関東ふれあいの道」



森の匂いを含んだ心地よい風が、汗ばんだ首筋を撫ぜ通って行く。ゆつくりと腰を下ろして蜜柑の皮を剥く。ちくりと尻に今刈ったばかりの笹

竹の切り株があたる。腰をすらす。蜜柑の甘酸っぱい汁が舌に沁みる。きれいになった山肌に木々の間より淡い陽光が射す。山が好きで、森に愛着を持つ人が感じる爽快な

気分の一瞬である。労働、いや軽労働かな。気儘な時がゆつくりと過ぎる。深く息をしながら立ち上がる。

山刈り機のエンジンが又始動する。雑草木の繁茂の状況で強弱の響きが両手に伝わってくる。近頃耳が遠くなったので、エンジンの音が半減したせいか心地よいリズムに聞こえる。能率は考えない。地表より笹竹、雑草などが刈り取られ、山の視野が少しずつ開ける。昨年刈ったところまであと少しだ。

陽が南に回ったのか地表に射す光の場所が幾分多くなった。

## 人権擁護委員が変わりました

横芝町には町長から推薦された3人の人権擁護委員がいますが、昨年、鈴木榮さん(北清水)が退任されたため、新しく渡邊冀一さん(屋形)が着任しました。

人権相談は毎日第1・2・3火曜日の午後1時30分から役場隣の中央公民館で行っていますので、お気軽にご相談ください。相談は無料で秘密は守られます。

### ●町内の人権擁護委員(敬称略)

馬場明子 栗山2880の24 (☎21808)

吉川義男 長倉1220の1 (☎21319)

渡邊冀一 屋形5242 (☎22444)

また、退任された鈴木榮さんに法務大臣より感謝状が贈られました。おめでとうございます。



人権擁護委員の方々(右から渡邊さん、吉川さん、馬場さん)

山刈り機が又始動する。雑草木の繁茂の状況で強弱の響きが両手に伝わってくる。近頃耳が遠くなったので、エンジンの音が半減したせいか心地よいリズムに聞こえる。能率は考えない。地表より笹竹、雑草などが刈り取られ、山の視野が少しずつ開ける。昨年刈ったところまであと少しだ。

山には自分以外誰もいない。目の前の御影石に「関東ふれあいの道」と刻まれた道標がひっそりと建っている。



山の清浄な大気を一杯に浴びる森林浴。みなさんも一度いかがですか。

山武郡市森林組合横芝支部  
怒賀 源也

海水浴とか日光浴は見たり聞いたりにしているが、森林浴とは近頃の言葉である。10年ほど前に当時の林野庁秋山智英長官が名付けた言葉だそう。いつだかの本で読んだことがある。以後、森林浴運動が盛んになり、自然休養林・自然観察教育林とか全国で250か所余りの国有林を開放したそう。

山の新鮮な空気を吸えば健康的な気分にもなると思ふ。また、樹木から「フィトンチッド」なる芳香性物質が発散し、人体に良い影響を与え、少しぐらいの風邪や疲れは治るそう。さらに、頭の回転も良くする効能もあるとか。ヨーロッパでは森林療法森林浴が大変盛んであるという。